

《担当者名》歯学部講師 / 村田 幸枝

【概要】

1年後期に修得した内容を再確認し、重要項目をピックアップし、かつ確実に暗記し常時6割以上の得点を獲得できる力をつけることを目的とする。衛生・公衆衛生は、他の教科と異なり、類推して解答を誘導することが比較的困難な教科である。これを念頭におき、暗記する努力をしていただきたい。

【学修目標】

歯科衛生士国家試験問題を確実に解ける力を獲得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	予防医学と疫学 人口問題	予防の3時期と5段階、および疫学の種類を覚える。 統計の種類、用語の定義を覚える。 人口の高齢化と疾患構造の関連について知る。	村田幸枝
2	環境衛生	数値、環境測定器具名称等を関連づけて理解する。 地球環境破壊による健康被害について知る。	村田幸枝
3	食品衛生 地域保健	食中毒に重点をおいて理解する。 乳児から高齢者までの保健対策、保健機構を整理する。	村田幸枝
4) 5	学校保健 母子保健 産業保健	学校保健の3管理と三師について役割を理解する。 母子保健法における定義を整理する。 THP(トータルヘルスプロモーションプラン)と産業保健における3管理について復習をする。	村田幸枝
6) 7	総括	演習問題で知識を再確認し、弱点の発見をする。 衛生行政との関連問題で応用力をつける	村田幸枝

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験 100%

【教科書】

「保健生態学」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【学修の準備】

予習(40分)：前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について復習しておく。

復習(40分)：講義内容および問題演習の内容を振り返り、理解を深める。

【実務経験】

村田幸枝(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師としての実務経験を活かして、歯科衛生士として深い理解が求められる衛生・公衆衛生学に関する応用力の向上を図る。